

# せせらぎ

No. 344



2018年03月



滋賀県勤労者山岳連盟 湖南岳友会

## 目次

1. 表紙からのメッセージ .....	P. 1
2. 私のひとりごと .....	P. 2
3. 03月例会山行案内【取立山 (1,307m)】 .....	P. 3
4. 04月例会山行案内【須磨アルプス縦走】 .....	P. 4
5. 01月例会山行報告【愛宕山 (924m)】 .....	P. 6
6. 01月例会山行報告【比良縦走】 .....	P. 8
7. 02月例会山行報告【藤原岳】 .....	P. 11
11. 01月度山行記録 .....	P. 15

## 今後の予定

日程	区分	内容
02月15日(木)	その他	運営委員会
02月18日(日)	例会山行	伊吹山 (1,377)
02月24日(土)	定例会議	19:00~21:00 草津市民交流プラザ
03月04日(日)	例会山行	蛇谷ヶ峰 (901m)
03月18日(土)	その他	総会 定例会議
03月21日(水/祝)	例会山行	取立山 (1,307m/福井勝山)
04月01日(日)	例会山行	須磨アルプス (鉢伏山~横尾山)
04月15日(日)	例会山行	須局ヶ岳 (三重・初級)

## 表紙からのメッセージ

### 八幡山 (鶴翼山)

前回の表紙は4年ほど前、白鳥川堤防歩道から八幡山(別名 鶴翼山・・・鶴が羽を広げたように見えることから。)を掲載しました。また同じアングルから撮ってみました。大きな違いは、右側手前に5階建ての近江八幡警察署が、その向側には衣料品スーパーができ、山は変わらないのに、全体の景色が変わってしまいました。

その間に入院したり・手術をしたり、初めて海外の山へ連れて行ってもらったりと、思ってもいないことも体験しました。

いつの間にか目に見える変化だけでなく本当に何が起こるかわからないと感じる年代になってきました。これからも時の流れに乗ってぼち~ぼち歩いて行きます。

今をさかのぼること 22 年前の 1995 年 11 月、ネパールで小さなデイパック 1 つを持って、ガイドも付けずに 5 日間トレッキングに行ってきました。すばらしい山の眺めを満喫するとともに、地元の人々のつつましい暮らしぶりを垣間見ることができ、いまだに当時のことが懐かしく思い出されます。

行ったコースはネパール第二の都市ポカラから、アンナプルナベースキャンプへ行くルートのもっと奥の村チョムロンまでです。

険しい登山道ではなく、森や段々畑を抜ける村々をつなぐ、歩きやすい石畳の山道を歩きます。農産物を運ぶ村人や馬とも頻繁にすれ違います。

4 枚組の右上の写真はマチュピチュレ山です。眺めのよい山腹の道を山々を眺めながら歩いていきます。

左下の写真はロッジです。簡素ながらも清潔な部屋と、西洋料理から地鶏カレーまでさまざまなメニューのおいしい食事が待っています。

右下の写真はアンナプルナ山です。もっと奥の村チョムロンまで来ると、こんなに間近に眺めることが出来ます。

夜ふと目覚めたときに見た、アンナプルナ山が月明かりに照らされて真っ白く輝いていて、そこに昇りかけの北斗七星が引っかかっていた光景は忘れることが出来ません。

長い歳月がたち、今も村々は素朴な風情を残しているのか、それともすっかり観光地化されてしまったのか気になります。

いつになるかわかりませんが、再び訪れることができればいいなと思っております。



## 例会山行案内

# 取立山（1307m）

江戸時代の中期に加賀藩と勝山藩が取立山の稜線を境に定めたが、加賀藩から焼き畑農業を目的に勝山藩内に入植するものが増加したため、勝山藩は入植者に対し加賀者といって厳しく年貢を取り立てたことから「取立山」の由来が伝わる。

5月に咲く水芭蕉の山としてはあまりにも有名だが、今回は早春の雪の取立山に行くことにした。

山行期間 3月21日(日帰り)

集合場所 野洲駅 6時05分  
竜王コンビニ 6時20分

行程 3月21日 野洲駅 6時05分発→竜王コンビニ 6時20分→福井北 IC  
→9時00分取立山登山口(東山いこいの村)→11時30分  
頂上→14時30分取立山登山口(東山いこいの村)→福井  
北 IC→竜王コンビニ 17時00分野洲駅 17時20分着

※早春の雪山です。アイゼン・ワカン or スノーシュー等の冬山の日帰り装備をご用意ください。

参加申込先 SL、CLの両名へメールでお申し込みください。

締切 3月4日



## 須磨アルプス縦走 鉢伏山から横尾山.東山まで

六甲山地西端にある須磨アルプスで、少しの岩場や、神戸の街並みと明石海峡大橋及び須磨浦海岸を望むことができ、初心者向きの山です。

**実施日時:**2018年4月1日(日曜日)

**集合場所:**須磨浦公園駅(改札をでたところ小さな駅なのですぐわかります)

(必ず下記電車の1両目前部ドアに乗車ください。CL、SLが案内。)

近江八幡(6:51)---野洲(6:57)---草津(7:05)---南草津(7:08)三ノ宮乗り換え(8:22 着8:26 発)---須磨(8:40)(ここで乗り換え山陽電鉄に)山陽須磨(8:50)---須磨浦公園(8:52)

\*JR 須磨駅から山陽電鉄須磨駅までは JR 須磨駅下車後山側へ向かい、100m先に正面が山陽須磨駅となります。地図は下記にしめています。

\*運賃は野洲-須磨 1940円と須磨-須磨浦公園が 150円です。できるだけ格安切符を購入されることをお勧めします。

**集合時間:**9時00分(山陽須磨裏公園駅改札をでたところ)

**行程:**須磨浦公園(9:05)---鉢伏山(9:40)---旗振山(10:00)---鉄拐山(10:35)---おらが茶屋(10:50)---梅尾山(11:30 昼食 12:30 発)横尾山(12:30)---東山(13:20)---山陽電鉄板宿駅(15:00)の周回コースとなります。

\*総歩行距離:7.4km 高低差:312m

\*山中トイレは鉢伏山. おらが茶屋にあります。自販機もおらが茶屋までの各頂上にあります。

\*解散は山陽電鉄板宿駅とします。

\*山陽電鉄板宿駅からは高速神戸駅まで乗車し(280円)ここから JR 神戸駅まで歩行約5分ここに行列のできる食パン屋さんありこの他いろんなお店屋さんがあります。各々でお楽しみください。

**持ち物:**いつもの日帰り登山用品(靴は通常の山靴にしてください)

**リ-ダ-サブ-リ-ダ-用意:**補助ロープ(10m). 救急セット

**申し込み先:**CL、SL

\*必ず両名で申し込みをお願いします。

**申し込み最終日:**3月25日(山行計画書準備のため)

**その他:**該当内容説明日 2/24.3/18。一口感想.記録.写真の担当者は参加者の中から決定させていただきます。

## 行程図と標高



\*この所要時間は参考にしないでください。

## JR 須磨駅と山陽電鉄須磨駅位置関係

JR 須磨駅から山陽電鉄須磨駅までは 100 m



## 1月例会山行報告

### 愛宕山（新春登山）&新年会

日 時 平成30年1月7日（日）晴

参加者 19名



行 程 京都駅前市営バス停 6:55⇒清滝 7:55⇒登山口 8:15⇒茶屋跡 9:05⇒水尾分かれ 10:00  
⇒黒門 10:30（アイゼン装着）⇒愛宕神社 10:50～11:35（昼食）⇒米買い道 12:05  
⇒荒神峠 12:35⇒保津峡駅 13:40 着⇒保津峡駅 14:14 発⇒京都駅 14:35⇒  
がんこ寿司 15:00～17:00 解散

報 告 穏やかな天候に恵まれ、真冬とは思えない寒さ知らずの気持ちよい山行だった。黒門あたりから残雪多くなり階段もあるので安全のためアイゼンを装着。お正月の月で祝日でもあったので参拝者も多かった。米買い道からの下山は、ぬかるんだ道でしかも急坂続きで、気のぬけない下山であった。保津峡駅では次の新年会に備え皆さん靴の泥落としに必死だった。皆さんほど良く疲れた体にアルコールが入り和やかな新年会となった。

経費 バス代 230円 新年会会費 3,750円 JR代

#### 一口感想

朝も早よから 愛宕山を目指して 19人が各々の駅からびわ湖線電車を埋め尽くしていく。清滝行きバスも次々と満員御礼。運賃も安い!! 登りはじめはキリッとした冷えもなくぬるめの気候。山頂も大したことはないかなと予測。水尾のあずま屋手前あたりから上はうっすら白い薄化粧。本殿を参拝する頃、青空が広がる丁度いいコントラスト。

保津峡駅への下りはヌルヌルの足場。お疲れ様!!

がんこ寿司の顔となった岳友会 新年会では 小生、神主 I.G.の生酒 連発注文と注ぎ人 A.N.のサイクル恩恵を経てのどを麗してもらい大変満足(\*ハハ)ノ♪ 本年もどうぞ よろしく。(Y.I)



私にとって毎年恒例になっている愛宕神社初詣は、今回 19 名で表参道からの参拝と帰路は米買峠ルートでした。好天に恵まれ積雪も少なくアイゼンを装着しなくても歩ける状態でしたが、帰路の雪融けのドロドロ道には往生しました。何より拝殿で今年も事故無く無事に山行出来ることを祈願して、帰りに京都で盛り上がった新年会でしっかり飲み、楽しい 1 日を過ごしました。

今年も老体に鞭打って頑張ります。会の皆さん宜しくお願いします。

CL・SL さんお世話有難うございました。

M. T



延々と続く階段



茶屋跡で一休み



愛宕神社参拝



境内は雪化粧



皆さん笑顔で乾杯



## 例会山行報告

### 比良山系テント泊縦走（横谷峠～釣瓶岳～武奈ヶ岳～北比良峠）

【山行日】2018年1月20日（土）～1月21日（日）

【参加者】10名

#### 【コースタイム】

##### 1月20日（土） くもり

近江高島駅 7:26 発 → (バス) → 7:45 畑バス停着・出発準備 8:20 → 8:42 衣服調整・休憩 8:50 → 9:40 横谷峠 9:55 → 10:15 (休憩) 10:20 → 10:59 地蔵山 11:10 → 11:32 笹峠 11:37 → 12:20 イクワタ峠(昼休憩) 12:45 → 13:25 釣瓶岳 13:35 → 14:20 テン場着(細川越を少し下がったところ)

19:00 就寝

休憩を含めた総行動時間 6:00 (昭文社のコースタイムの約 1.5 倍)

##### 1月21日（日） 晴のちくもり

5:00 起床

テン場 8:00 → 細川越 → 8:25 ワカン → アイゼンへ変更 8:30 → 9:05 武奈ヶ岳 9:20 → 9:35 コヤマノ分岐 9:40 → 9:55 コヤマノ岳 10:00 → 10:10 コヤマノ分岐へ戻る 10:20 → 10:46 休憩(イブルキノコバ過ぎたところ) 10:55 → 11:35 昼食(北比良峠) 12:00 → 12:40 カモシカ台 12:45 → 13:00 (アイゼン外す) 13:05 → 13:40 イン谷着 13:50 → 14:25 比良駅着

休憩を含めた総行動時間 6:25 (昭文社のコースタイムの約 1.2 倍)

#### 【コースの状況・留意点など】

- 会テントなど預かって装備の多い人は近江高島駅前の駐車場まで車で、また1台は下山口の比良駅前の駐車場まで車で行き、下山後、近江高島まで車で戻った。その他の人は、JRを利用した。
- 畑から林道を横切る所に獣よけの柵があり、昨シーズンのネット情報では柵が雪で埋まって開かなかったとの情報があった。今回はスコップで柵を掘り出す予定だったが、雪がなく、その必要はなかった。
- 林道を横切った所から積雪があり、そこから武奈ヶ岳まで、トレースはほとんどなかった。
- 横谷峠からワカンまたはスノーシューを付けた。雪は全体に少なく、潜る所はなかった。地蔵峠～イクワタ峠は雪のない所もあった。
- 2日目の出発時はワカン・スノーシューを付けたが、雪が非常に締まっていた、また、傾斜も急になってきたので、武奈ヶ岳登りの途中でアイゼンに履き替えた。最初からアイゼンの方がよかった。
- 地蔵峠周辺では林道が交差して分かりにくいところがある。積雪のため、林道であることが分かりにくい。
- 釣瓶岳の下降は尾根が広く、どこでも歩け、また左に延びる別の尾根に入りやすい。トップを歩く人は方向が分かりにくいので、最後に歩く人がコンパスの方向とトップの位置を見て、トップの進む方向が正しいがチェックすることが必要。さらに、途中で細川越へ左に直角に曲がる所で、そのまますすぐに尾根を進みやすい。雪道では特にルートファインディングに注意が必要。

- コヤマノ分岐からイブルキノコバは、無雪期は途中から谷道に入るが、積雪期はそのまま尾根道を進む。トレースも尾根道にしっかりと付いていた。
- 細川越から広谷方面に5分ほど下った所は、広くほとんど水平な雪原になっていて、テント場に適している。また、冬でも流水が得られるので、雪から水を作る必要なく。今回のように大人数の場合、大変助かった。
- 張り綱の固定は、竹ペグの他、レジ袋、小枝なども利用したが、いずれもしっかりと固定できた。ただ、撤収時にレジ袋は簡単に抜けたという報告もあり、持ち手部分の強度と併せて、風が強い時など注意が必要かもしれない。持ち手に結ばずに、雪を固く詰めたポリ袋を俵状にして横で結ぶ？
- テント場の翌日早朝はマイナス5℃程度のようなようだった。テント内が狭いので外に出しておいた靴も凍りはしなかったが、やはりテントの中に入れておくことが必要。
- テント撤収時、ポールのジョイント部が凍っていたが、その部分をこすると外れた。熱のため？振動のためか？
- 共同装備（食糧除く）の重量は1人1,700g程度、共同食料は1人500g程度。
- ガス消費量は全部で480gで小ボンベで2個程度、1人あたりは小ボンベ0.2個程度。今回は雪を融かす必要がなかったため、流水のない場合はもっと多く必要。
- 8テンの銀マッポー式はポリリュームが大きくて大変。ザックの中には入らないので、持って行く場合は横につけられるようなザックが必要。
- 8人用テントは一人あたりにすると重量は4人用テントと変わらない。10人でも一緒に食事をすることが可能。ただし、8テン本体を持つ人の個人装備を他の人が持つなどの工夫が必要。

#### 【装備・食料】

共同装備：テント一式（8人用及び4人用、フライ、内張付）、スコップ2、コッフェル（2セット）、ガス（大1、中2）、ガスヘッド（ホース付き2、小2、小はほとんど使用せず）、コンロ台、ブラシ（靴・ザックなどの雪を落とすため）、ロープ（7mm×10m）、救急セット

個人装備：シュラフ、シュラフカバー、マット、ストック、ワカンまたはスノーシュー、アイゼン、スリング1、カラビナ1、その他、通常の冬山テント泊装備

食糧：夜は鍋（鶏団子鍋）とラーメン。朝は雑炊。

#### 【費用】

食糧費 一人540円

#### 【感想】

今回荷が重いこともあって、ワカンを持っていきましたが、急な登りがありスノーシューの方が良かったかなとも思いました。

おそらく地蔵峠あたりだと思いますが、メリハリのない広いところが続き、後ろから右方向と行ってもらわなかったら、まっすぐ進んでしまったと思います。

寝る前が暖かかったので、カイロ一枚のみ貼って寝たら寒くて寒くて目が覚めてしまった。スリーシーズンシュラフでは暖を取る工夫を怠ってはいけないと思いました。

初めての冬山テント泊に参加させていただきました。ワカンを履きましたが、雪の状態によると思いますが急坂も結構楽に登れることに感心しました。

テントは予想以上に寒く、特に背中、足先が冷たく熟睡できなかったのが辛く感じました。今回はカイロを使用しませんでした。必要に応じ使ったほうが良いと思います。

冬山テント泊は装備が大変ですが、それ以上の充実感が味わえました。」



横谷峠からはワカン、スノーシューで歩く



地藏山、雪は少ない



釣瓶岳への急坂を登る



テントを張る所を、皆で圧雪する



広々としたテント適地



武奈ヶ岳北陵を登る。左側は雪庇に注意



ゴールの武奈ヶ岳頂上



コヤマノ岳のブナが美しい

2月例会山行報告

## 鈴鹿 藤原岳 (1,144m)

1. 日時 平成30年2月4日(日) 快晴

2. 参加者 16名



3. 行程

野洲駅 06:05 ⇒ 竜王コンビニ 06:30 ⇒ 観光駐車場出発 08:00 ⇒ 大貝戸登山口 08:10 ⇒ 衣服調整 08:30 (5分間) ⇒ 4合目アイゼン装着 09:00 (10分間) ⇒ (この間アイゼントラブルで停滞あり) ⇒ 8合目 休憩 10:10 (15分) ⇒ 藤原山荘 休憩 11:05 (5分) ⇒ 藤原岳 11:30 (10分) ⇒ 藤原山荘 昼休憩 12:00 (25分) ⇒ 8合目 休憩 12:50 (5分) ⇒ 4合目アイゼン外し 13:45 (10分) ⇒ 大貝戸登山口 装備洗い 14:10 ⇒ 観光駐車場到着、解散 14:30

4. 山域変更

当初、霊仙山 (1,094m) を予定していましたが、条件が悪く、1/31 (水) に山域を藤原岳 (1,144m) に変更することとなりました。霊仙山では河内の風穴より先が通行止めで、登山口まで約3Km、往復で2時間強の道路を歩くことになり、また、ノートレースが予想され、ラッセル必須では途中時間切れ・撤退が避けられない状況が想定されました。尚、この変更山域による参加メンバーの変更

は御座いません。変更後の藤原岳はしっかりとしたトレースがあり、アイゼンだけで登山できたとの情報も入手、天候も良好とのことでした。

## 5. 報告

藤原岳は鈴鹿北部の山では一番貫録があり、存在感もある山ですが、ただ東斜面は、永年の石灰岩の採掘によって、中腹までえぐり取られ、地肌をむき出しにしているのを痛々しく感じます。

前日にはCL、SL、及びALが下見を行い、当日、メンバーを的確にリードして頂きました。ありがとうございます。

八日市ICから永源寺、石樽トンネルを抜け、いなべ市の登山口へ到着。駐車場は混雑が予想される大貝戸登山口駐車場（無料）を避け、観光用駐車場（有料）に車を置きました。藤原岳、やはり人気のお山です。朝8時には大貝戸登山口駐車場はほぼ満車でした。

### ■ 出発

駐車場での体操の後出発しました。今日は大貝戸登山口からのピストンです。空は快晴です。今回は人数が多いため、A/Bチームに分け、Bから出発します。8合目までなだらかな樹林帯の登りが続き、3合目までは泥道で雪は見えません。九十九折りの登山道を登ると4合目に到着です。



### ■ 4合目

ここでアイゼンを装着しました。8合目までは圧雪された雪が凍り、アイゼンが良く効きます。



### ■ 8合目

8合目までは無風状態で汗が流れます。8合目は裏道（聖宝寺）との分岐になります。ここで急登に備えて休憩。ここより雪質が変わり、頂上付近まではサラサラふかふかの雪となりアイゼンがあまり効きません。8合目からは雪崩を避けての冬道となり、藤原山荘まで直登となります。



### ■頂上へ

9合目を過ぎるあたりから藤原山荘が見え 目前に雄大な頂上が姿を現します。藤原山荘から頂上までは意外に近く、山頂そのものは意外に狭いに反し、その周辺は雪の平原が広がり、スノーシューを楽しみたい衝動に駆られます。出発から3時間半で頂上へ到達。山頂からの眺望はすばらしく、伊吹や比良山系、南側には鈴鹿山脈の南部の山並みも一望できます。また濃尾と伊勢平野、蒼く光る伊勢湾、悠々と流れる木曾三川までも望め、そのパノラマは絶佳そのものです。





## ■食事／下山

頂上直下の藤原山荘は多くの登山者が食事を楽しみ満員でした。我々は強風を避けて小屋の裏手で昼食となりましたが、時折突風が吹き、身体のコを冷やします。そのため長居をせず事を早々に切り上げ、記念写真を撮り下山となりました。



## 6. 一口感想

まれな快晴に山々はすっきり。こんな雪景色に出逢うなんて、ラッキー！一週間前には蛇谷ヶ峰で新雪に悪戦苦闘、天候次第で雪山は天と地ほど変化する体現山行でもあった。

晴天に恵まれ、景色を楽しみながらあっという間の山頂でした。雪も締まっていてアイゼンが効いてとても歩き易かったです。CL、SL お疲れ様でした。

深雪の覚悟をしていましたが、トレースがしっかりついた雪道は、非常に登り易かったです。天気も一日中良くて紺碧の青空が見えていましたが、頂上付近は冷たい強風が吹いていたため、スノーシューハイクができなくて残念でした。

お天気に恵まれ、山頂でのパノラマ絶景に大感激でした。まだ慣れないアイゼン歩行で、八合目からの急傾斜は上りも下りも上手く歩けず苦労しました。CL、SL の細やかな心配りのおかげで、安全に楽しい山行になったことを感謝します。

天気予報が大きく変わり、一日中、春のような気候。藤原岳の雪と青空を満喫することができました。しかし、時折吹くブリザード、旨い昼飯も冷たくなってしまいました（笑）

2018年1月山行記録

山行期間	山域・山名	例会等	参加者数		ブログ掲載
			会員	会員外	
12/30 ~ 1/2	北アルプス 蝶ヶ岳		1	1	
1/4	綿向山		2	1	
1/5 ~ 1/7	八ヶ岳 赤岳 硫黄岳		1		
1/6 ~ 1/7	北八ヶ岳(縞枯山・白駒池・丸山・北横岳)		4		○
1/6 ~ 1/7	福井嶺北・荒島岳		7	6	○
1/7	愛宕山	例会	19		○
1/9	須磨アルプス	例会下見	2		○
1/9	織山・猪子山		1	1	
1/10	自主新春希望ヶ丘ハイキング		10	6	
1/13	京都寺社歩き①		8	3	
1/13	明神岳(奈良)		5		○
1/13	鈴鹿山脈 イブネ		1		
1/14	比良山系 権現山～蓬莱山		8		○
1/18	六甲山		4	1	
1/19	武奈ヶ岳 1214m		5		○
1/20 ~ 1/21	比良山系 横谷峠～釣瓶岳～武奈ヶ岳～北比良峠	例会	10		○
1/20 ~ 1/21	比良山系 武奈ヶ岳と八雲ヶ原テント泊		1		
1/20	鈴鹿山脈 御池岳		1	3	
1/20	伊吹山	例会下見	2		
1/21	大峰山脈 八経ヶ岳		1	0	
1/21	比良 権現・蓬莱山		1		
1/21	希望ヶ丘公園		1		○
1/26 ~ 1/28	中央アルプス 恵那山		7	4	
1/27	金剛山		1	2	
1/28	蛇谷ヶ峰 902m		6		○
1/28	福井 法恩寺山		1	2	

※ コース、人数等は、事前に提出された計画書に基づいて記載していますので、実際とは異なる場合もあります。

近郊の三上山、音羽山などの個人山行は、通常は記載しません。

複数の月にまたがる山行は、両方の月に掲載しています。